2019年8月24日（土）チーム神於山活動報告

2019.08.27
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■**活動日**：2019年8月24日（土）　9：00～11：00
■**参加者**：チーム神於山　8名
■**活動内容**

- 今回は、盆休＋天候不良で７月13日以来１ヵ月半ぶりの活動となったことから、その間に茂った草を刈ることに専念しました。
- 草の伸び方が尋常ではないことは事前にわかっていましたので、参加した８名の皆さんはやる気十分で準備をし、作業を開始したのですが、１時間過ぎにはゲリラ的な雨雲がかかるという“ヤフー天気”の雨雲レーダー情報通り、第１回目の休憩に入った１０時過ぎに雨が降り始めました。
- 雨は３０分程度で上がったのですが、水を含んだ草を刈るのは重労働になる事と、第１回の草刈りで、記念樹ゾーンと暗渠ゾーンのミカンの木の回り 及び 多目的広場の一部は刈り込みを終えていたので、‘絶対無理はしない’というチーム方針に沿い撤収を決め、１１時過ぎに下山しました。
- 活動頂いた８名の皆さん、お疲れ様でした。

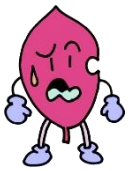
■**次回**

- 記念樹ゾーンの、「神於山シャープの森」の看板回りを含む残りのエリア・多目的広場・暗渠回り・基地から上部植栽地への通路・上部のシャープの森の入口回り等、草刈りが必要な個所が沢山残っていますから、先ずこの処理が９月の優先課題になりそうです。
- 別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

■**現場の状況**　多目的広場は勿論、記念樹ゾーンも、暗渠回りも、上部植栽地への通路も、草茫々状態。

- （写真　左）
  多目的広場と記念樹ゾーンの遠景です。
  草が膝上まで伸びており、記念樹ゾーンの看板も、半分隠れています。

- 暗渠回りも同様で、セイタカアワダチソウを中心に、足を踏み入れるのもためらわれるほど草が茂っています。



- （写真　右）
  通常上部の植栽地へは、黄色の破線の位置にある道を通って上がっていますが、現在は草で完全に覆われていて、通るのが難しい状態です。

- 何方かが「この分では、一年手を入れずに放置したら元の原生林に戻るね。」と、言われていましたが全く同感です。

■準備状況　　メンバーはやる気満々。　　いつも通り着々と準備を進めました。

混合オイルづくり。

チップソーの取り付け

エンジン調整と始動

■ BEFORE ＆ AFTER

・記念樹ゾーンのミカンの木回り

・取敢えずミカンの木の回りに焦点を絞って草を刈り、ほぼ借り終えました。
・刈った草は枯れて自然に帰り、良い土になります。

・暗渠ゾーンのミカンの木回り

・ミカンの木に行き着く為の通路作りから始め、ミカン３本と、サクランボの木の回りの草を刈り終えました。
・ガードレール直下の側壁、多目的広場から暗渠への斜面 及び 暗渠内の草は未処理です。

■　参加頂いた８名の皆さん。　　お疲れ様でした。必要なエリアは刈れましたのでホッと一息です。

■　閑話休題　　“雨宿り”と飛び入り参加の“カマキリ”

・（写真　左）
倉庫前の張出屋根の下に緊急避難。この屋根は、以前神於山ＧＳのメンバーだった米田さんにリーダーになって頂き取り付けたものですが、昨年の台風にもビクともせず、今回も格好の雨宿りの場を提供してくれました。米田さんに感謝です。

・（写真　右）
休憩中にベンチに止まっているカマキリを発見。
そんなに大きくないので、未だ幼虫かもしれません。

以上